

NEC Advanced Analytics Platform

V1.5

マネージドサービス

(エントリー、エントリープラスプラン)

サービス仕様書

1.4 版

日本電気株式会社

改版履歴

版	作成日	変更内容
1.0	2021/9/27	<p>AAPF V1.3 マネージドサービス仕様書 1.21 版をベースに新規作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「1.1 本文書の位置付け」関連ドキュメントの説明は「はじめにお読みください」に移動。関連ドキュメントのツリー図を更新。 ・「1.3 用語集－異種混合学習、表 2.1 AAPF マネージドサービスの動作要件－ライセンス、3.1.1 異種混合学習エンジンおよび API、5. 注意事項 14)」SAMPO/FAB 削除についての注意書き追加・更新 ・「表 2.1 AAPF マネージドサービスの動作要件－セキュリティ」ユーザーデータの暗号化の説明を追加 ・「表 2.1 AAPF マネージドサービスの動作要件－外部連携」外部連携を利用しないで利用者の DB や AP のデータをやり取りする場合の対策の表現を見直した（外部連携との違いが不明との指摘を反映） ・「表 2.3 サポート対応一覧」の「WISE エンジンイメージ…」について、備考欄を追記 ・「3.1.11 その他」として Jupyter Notebook Server のログを参照可能となったことを追記 ・「3.2.1.3 AAPF マネージドサービスのアップデート」を追記 ・「3.2.3 サービス利用料」の月跨りの記載を見直した（内容に変更はなし） ・「3.3.3 サポートライフサイクル」を追記 ・「表 4.2 システム利用時の責任範囲」アップデートに関連する責任、注記を追記 ・「5. 注意事項 15)」アップデートに関する注意事項は 3.2.1.3 を参照するよう記載
1.1	2021/10/28	<ul style="list-style-type: none"> ・全般：「互換イメージ」との表現を「旧イメージ」に統一。 ・全般：旧イメージはアップデート前から AAPF マネージドサービスをご利用されていたお客様の環境に限定して提供されることを追加。 ・「5 注意事項」の 5) に AAPF V1.5 以降の互換性の扱いについて補足。
1.2	2022/2/22	<ul style="list-style-type: none"> ・「1.1 本文書の位置付け」にドキュメント名の変更、追加ドキュメントを反映。 ・「表 3-2 問合せ概要」のサポート対応内容の注意事項を追加。 ・「1.3 用語集」の異種混合学習、「表 2.1 AAPF マネージドサービスの動作要件」のライセンス、「3.1.1 異種混合学習エンジンおよび API」、および「5. 注意事項」の 14) における SAMPO/FAB についての注記の表現を見直した。（「アップデート前から」との表現を V1.5.2 リリースに伴い「V1.3 マネージドサービスから」と明確にした。また、旧イメージについて「障害対応を行わない」と記載していたが「不具合の改修を行わない」に見直した）
1.3	2022/9/30	<ul style="list-style-type: none"> ・「5. 注意事項」に 16) (Notebook 実行中にブラウザ終了)、17) (OOMkiller 発生時の対応) を追加

1.4	2022/12/28	<ul style="list-style-type: none"> ・「表 2.1 AAPF マネージドサービスの動作要件」の「ライセンス」で注2を追加(V1.5.4からは標準で異種混合学習のみ選択可能) ・「表 2.3 サポート対応一覧」の WISE エンジンについて、異種混合学習のみ利用可能に変更。 ・3.1.2、3.1.3、3.1.4、RAPID 機械学習 (マッチング、時系列)、テキスト分析は V1.5.4 から標準で提供されないことを記載 ・対応ブラウザの Ver の記載を削除
-----	------------	---

目次

1	本文書について	4
1.1	本文書の位置付け	4
1.2	本文書の改版	5
1.3	用語集	5
2	サービス体系	8
2.1	AAPF マネージドサービスの動作要件	8
2.2	AAPF マネージドサービスの概要	11
2.2.1	サービス一覧	12
3	サービス内容	17
3.1	提供機能	17
3.1.1	異種混合学習エンジンおよびAPI	17
3.1.2	RAPID 機械学習（マッチング）エンジンおよびAPI	18
3.1.3	RAPID 機械学習（時系列数値解析）エンジンおよびAPI	18
3.1.4	テキスト分析エンジンおよびAPI	18
3.1.5	対話型UI（Jupyter）	18
3.1.6	WebUI 機能	18
3.1.7	ライブラリアドオン	19
3.1.8	Web API 機能	19
3.1.9	AI-API フレームワーク	19
3.1.10	拡張機能	19
3.1.11	その他	19
3.2	非機能要件	20
3.2.1	サービスレベル	20
3.2.2	サービス提供時間	21
3.2.3	サービス利用料	21
3.3	その他	22
3.3.1	問合せ	22
3.3.2	利用申請	23
3.3.3	サポートライフサイクル	23
4	責任範囲	24
4.1	システム作成時の責任範囲	24
4.2	システム利用時の責任範囲	25
4.3	システム解約時の責任範囲	26
5	注意事項	27
6	制限事項	29
7	禁止事項	30

1 本文書について

本文書は、秘密保持対象ドキュメントとして、事業者の許可なくコピーおよびその配布、ホームページへの掲載を禁じます。

新規に契約をされるお客様の場合は、その時点での最新サービス仕様書を参照頂き、サービス仕様を確認してください。

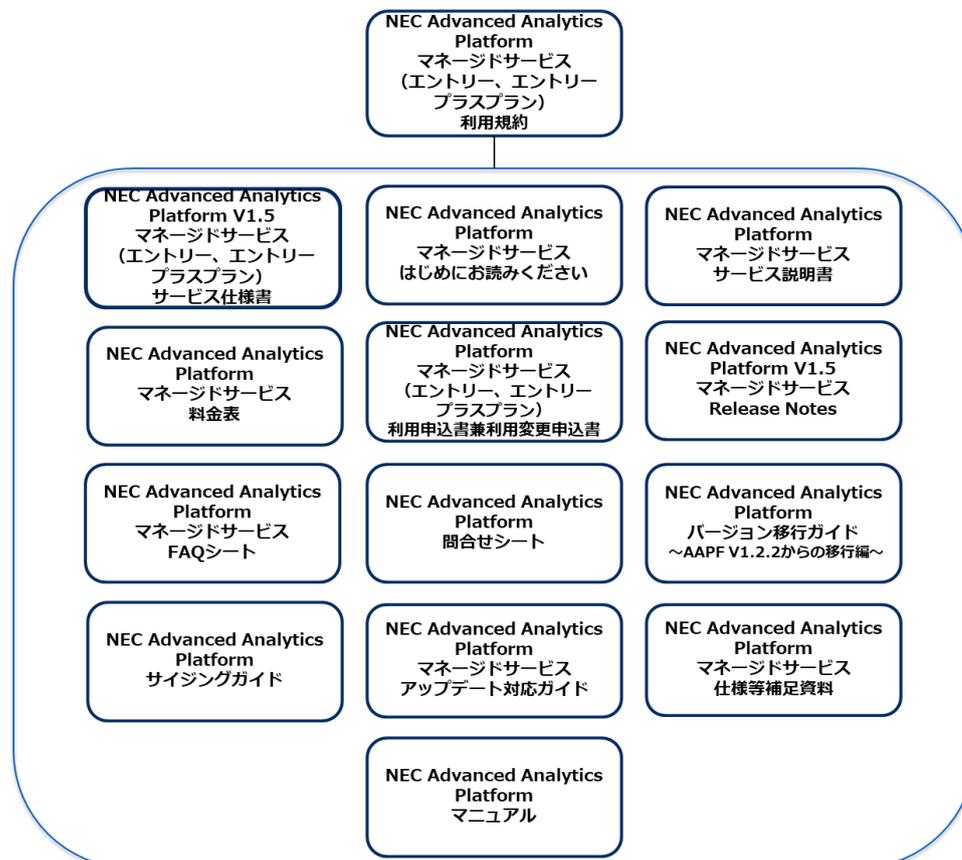
AAPF マネージドサービスの提供内容は変更する場合がございます。それに伴い、本文書を見直します。

1.1 本文書の位置付け

本文書は、契約者、および認定利用者（以降、「利用者」と記載）向けに事業者が提供する「NEC Advanced Analytics Platform V1.5 マネージドサービス」（以下、AAPF マネージドサービス）のエントリー、エントリープラスプランのサービス仕様を記載した文書です。

関連ドキュメントとの関係は以下の通りです。

なお、関連ドキュメントの説明は「はじめにお読みください」を参照ください。



1.2 本文書の改版

本文書の見直しは、AAPF マネージドサービスの提供内容の変更に伴い実施します。

1.3 用語集

用語	説明
AAPF (NEC Advanced Analytics Platform)	AAPF マネージドサービスに搭載している「検証～導入～活用」を包括的に支援する分析ソフトウェア。
異種混合学習	<p>NEC が提供する AI 技術のひとつで、多種多様なデータから自動で複数の規則性を発見し、高精度で解釈性の高い予測結果を得ることができます。本サービスでは本技術を搭載した分析エンジンおよび API を提供します。</p> <p>注：AAPF V1.3 マネージドサービスまでは SAMPO/FAB と sklearn-fab の 2 種類ありましたが、AAPF V1.5 マネージドサービスのイメージには SAMPO/FAB は搭載されません。なお、AAPF V1.3 マネージドサービスから AAPF マネージドサービスをご利用されていたお客様の環境に限定して SAMPO/FAB を含む AAPF V1.3 マネージドサービスのイメージ（以降、旧イメージ）が提供されます。また、AAPF V1.3 マネージドサービスの旧イメージは AAPF V1.5 マネージドサービス開始から 2 年間は利用できますが、旧イメージに対する脆弱性や不具合の改修は行わず、問合せ対応も可能な範囲での回答となるため、早めに sklearn-fab への移行をお願いいたします。</p>
RAPID 機械学習	NEC が提供する AI 技術のひとつで、非構造化データに対応した高速・軽量の機械学習を可能とし、お手本データを学習させることで、判断モデル(法則)を自動生成します。本サービスでは本技術のうち「時系列数値解析版」「マッチング版」を搭載した分析エンジンおよび API を提供します。
テキスト分析	NEC が提供する AI 技術のひとつで、テキスト文中における単語の重要性や、品詞などの文の構造を考慮し、二つの文が同じ意味を含むかどうかを高精度・高速に判定します（テキスト含意認識技術）。同じ意味なのに異なる表現が用いられていたり、異なる意味なのに同じ単語が使われていたりしても、正しい分析結果を得

	<p>られます。本サービスでは本技術を搭載した分析エンジンおよびAPIを提供します。</p>
事業者	<p>AAPF マネージドサービスの提供者。</p>
契約者	<p>当社との間で利用契約を締結した法人その他の団体をいいます。本書では本契約の窓口となる方（管理者）を指します。</p>
認定利用者（利用者、AAPF ユーザー）	<p>AAPFを利用するユーザーの総称。ユーザーはデータサイエンティスト、アプリケーション開発者、アプリケーションのユーザー、アプリケーションの運用管理者に分類されます。</p> <p>データサイエンティストはAI活用における検証フェーズとして、分析プロセス設計、API設計、ダッシュボード設計等を実施するユーザーを指します。</p> <p>アプリケーション開発者はAI活用における導入フェーズとして、アプリケーションの開発・運用環境の構築、AI機能のアプリケーションへの組み込み等を実施するユーザーを指します。</p> <p>アプリケーションのユーザーおよび運用管理者はAI活用における活用フェーズとして、アプリケーション開発者の構築したアプリケーションの利用・運用を実施するユーザーを指します。</p>
AACluster	<p>AAPF が提供する、分析のためのディスプレイ環境、および環境を作成するためのコマンド。Jupyter や Apache Spark といったサービス（Docker コンテナ）を効率的に利用して分析を行えます。</p>
マネジメントノード	<p>AAPF および AAcuster を管理するノード。Web サービスノード経由で AAcuster を起動し、分析を開始します。事業者は、このノードに接続して AAPF の各種構成変更をします。</p>
Web サービスノード	<p>AAPF API Token の作成・削除や AAcuster を作成・削除できる AAPF WebUI を提供するノード。</p> <p>AAPF WebUI/WebAPI が稼動するノード。</p>
ストレージノード	<p>分析対象データや分析結果を格納するノード。</p>
コンテナノード	<p>AAcluster（を構成する Docker コンテナ群）が稼動するノード。</p>
WebUI	<p>AAPF API Token や AAcuster を操作（作成、削除など）できません。</p>

WebAPI	任意の HTTP Client を使って WebAPI を呼び出し、AACluster を操作（作成、削除など）できます。
AI-API	AI-API を呼び出すことで Jupyter Notebook ファイル(. ipynb) を実行することができます。
AI-App(s)	AI-API を用いて開発した各種アプリケーション。

2 サービス体系

AAPF マネージドサービスは、お客様が分析検証を実施するために、事業者側でパブリッククラウドサービス上に AAPF 環境を構築し、運用・保守までワンストップで提供するサービスです。

AAPF マネージドサービスの注意、制限および禁止事項については、それぞれ「5. 注意事項」「6. 制限事項」「7. 禁止事項」を参照してください。

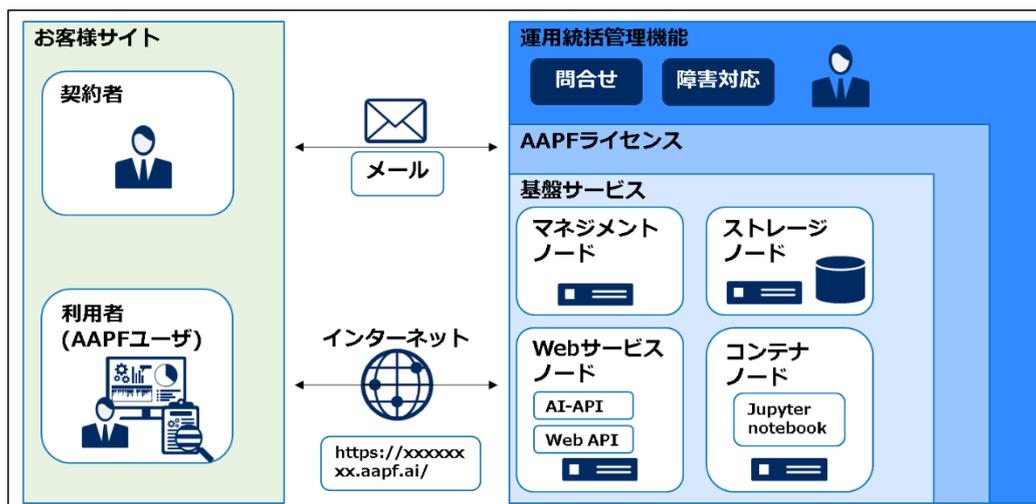


図 2.1 AAPF マネージドサービスの体系図

2.1 AAPF マネージドサービスの動作要件

AAPF マネージドサービスの動作要件は以下の通りです。

表 2.1 AAPF マネージドサービスの動作要件

項目	要件
サーバスペック、ストレージ容量	<ul style="list-style-type: none"> 契約プランに応じて、ユーザーごとに下記コンテナノードのスペック、およびストレージノードのストレージ容量が割り当てられます。 エントリープラン：vCPU1 コア、8GB メモリー、ストレージ 20GB エントリープラスプラン：以下のいずれかの契約となります。 <ul style="list-style-type: none"> vCPU4 コア、32GB メモリー、ストレージ 40GB vCPU1 コア、8GB メモリー、ストレージ 20GB ※ユーザーごとの vCPU 数、メモリー量の変更はできません。 ※vCPU 数は、ユーザーごとの最低割当保証です。他ユーザーが vCPU を使用していない場合、空きに応じて割当保証以上の vCPU 数を利用できます。メモリー、ストレージ容量は上限です。 ・エントリープラスプランではストレージ容量を拡張可能です。 ※注意事項があります。後述の「5 注意事項」の 11) を参照ください。

<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者にて利用者が分析環境を利用するための URL (FQDN) を決定し、契約者に提供します。 ※URL は AAPF マネージドサービスの利用申請を行った契約者へ通知します。URL は変更できません。 ※利用者端末から AAPF マネージドサービスへのアクセスするため以下の要件を満たす必要があります、 <ul style="list-style-type: none"> -AAPF アクセスのために最低限必要なサービスポート (https(443)/tcp) が許可されている事 -HTTPS 通信において[GET/POST/PUT/DELETE/PATCH/WS]メソッドの通信が許可されている事
<p>必須ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Chrome, Firefox ※上記は、利用者が Web サービスノードに HTTPS にて接続し、本サービスを利用するために必要な Web ブラウザです。Internet Explorer、Microsoft Edge 等の他のブラウザはサポート外となります。
<p>ライセンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・異種混合学習機能 (SAMPO/FAB(注 1)、sklearn-fab) ・RAPID 機械学習マッチング機能(注 2) ・RAPID 機械学習時系列数値解析機能(注 2) ・テキスト分析機能(注 2) <p>注 1 : SAMPO/FAB は AAPF V1.5 マネージドサービスから標準搭載されません。なお、AAPF V1.3 マネージドサービスから AAPF マネージドサービスをご利用されていたお客様の環境に限定して SAMPO/FAB を含む AAPF V1.3 マネージドサービスのイメージ (以降、旧イメージ) が提供されます。また、AAPF V1.3 マネージドサービスの旧イメージは AAPF V1.5 マネージドサービス開始から 2 年間は利用できますが、旧イメージに対する脆弱性や不具合の改修は行わず、問合せ対応も可能な範囲での回答となるため、早めに sklearn-fab への移行をお願いいたします。</p> <p>注 2:AAPF V1.5.4 以降は標準で提供されません。以前から継続利用中の案件に限り利用できます。(新規申し込みで異種混合学習以外を利用される場合は個別にご相談ください)</p>
<p>認証方式</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・AAPF マネージドサービスでは、以下認証方式を許可しています。 WebUI ログイン : パスワード認証 AI-API 利用 : Jupyter Notebook で発行した Jupyter Token による認証 ※WebUI ログインは利用者(AAPF ユーザー)のユーザー名とパスワード使用。 ・パスワードは以下の種類があり、各種制限があります。 WebUI パスワード : 10 文字以上の英数字記号。英字と数字は必ず 1 文字以上含むこと

<p>セキュリティ</p>	<p>下記3つの方針でセキュアにご利用頂けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ID、パスワードによるログイン認証。 ・ データ分析を行う通信はすべて HTTPS (TLSv1.2) によって暗号化。 ・ 事業者によるアクセス権設定により、ユーザーはユーザー自身のストレージにのみアクセス可能。 <p>また、AAPF V1.5 マネージドサービスからストレージノードのユーザーデータを暗号化します。ストレージデバイスが盗難・流用された場合に秘匿性を保ちます。</p>
<p>外部連携 (VPC Peering)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ エントリー、エントリープラスプランではご利用頂けません。外部連携 (VPC Peering) をご利用される場合はスタンダードプランをご契約頂く必要があります。 ・ 利用者の DB やアプリケーションのデータを利用したい場合などは AI-API、Jupyter WebAPI、AAPF WebAPI を使用して必要なデータをやりとりする必要があります。

2.2 AAPF マネージドサービスの概要

AAPF マネージドサービスの提供イメージは、図 2.2 の通りです。

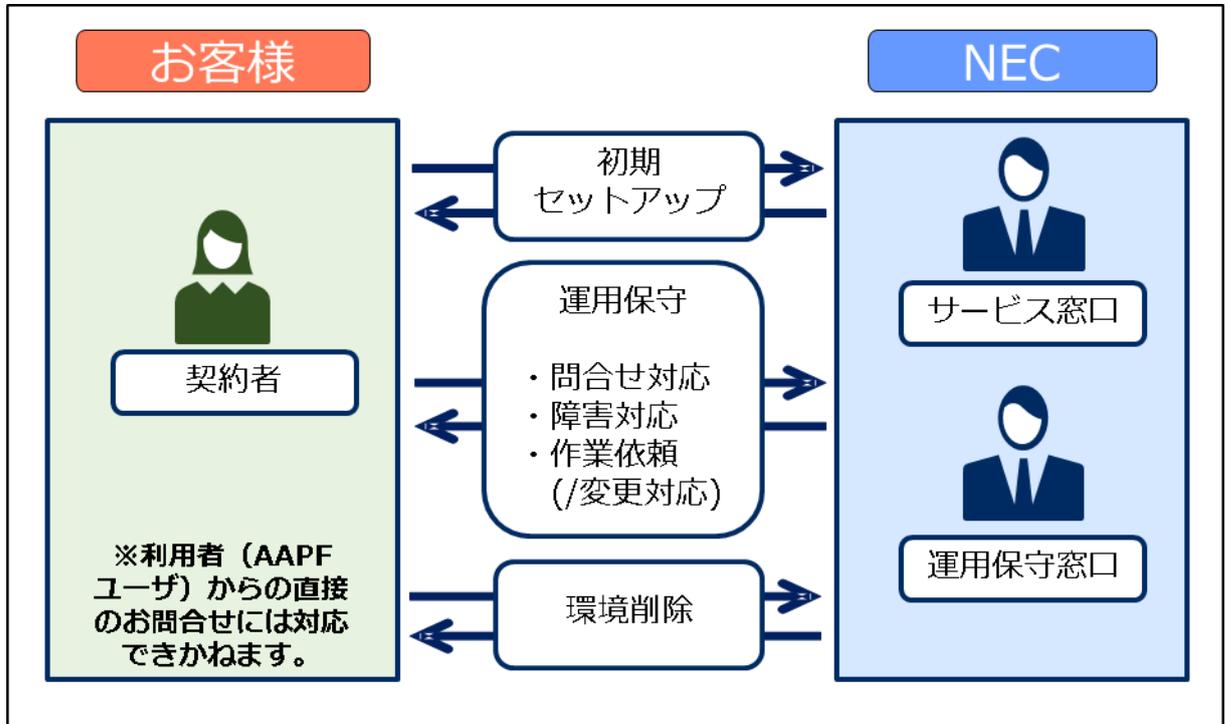


図 2.2 AAPF マネージドサービスの提供イメージ

2.2.1 サービス一覧

AAPF マネージドサービスのサービス一覧は以下の通りです。

表 2.2 サービス一覧表

サービス		説明
初期セットアップ		契約者の要件をヒアリングした上で、分析環境を利用できる状態にセットアップします。
運用・保守 (サポート対応) (※1)	問合せ対応	お客様 (契約者) からの問合せ窓口対応を実施します。
	障害対応	障害発生時にお客様 (契約者) の窓口となり、早期復旧に向けて対応します。
	作業依頼	お客様 (契約者) からの依頼に応じて対応します。対応可能な作業は「表 2.3 サポート対応一覧」を参照ください。 なお、依頼内容によっては対応できない場合もあります。
環境削除		利用申込書兼利用変更申込書に記載の終了日に環境を削除します。

※1 運用・保守について、プランごとにひと月のサポート対応件数の上限を規定しています (エントリープランは1件まで、エントリープラスプランは2件まで)。

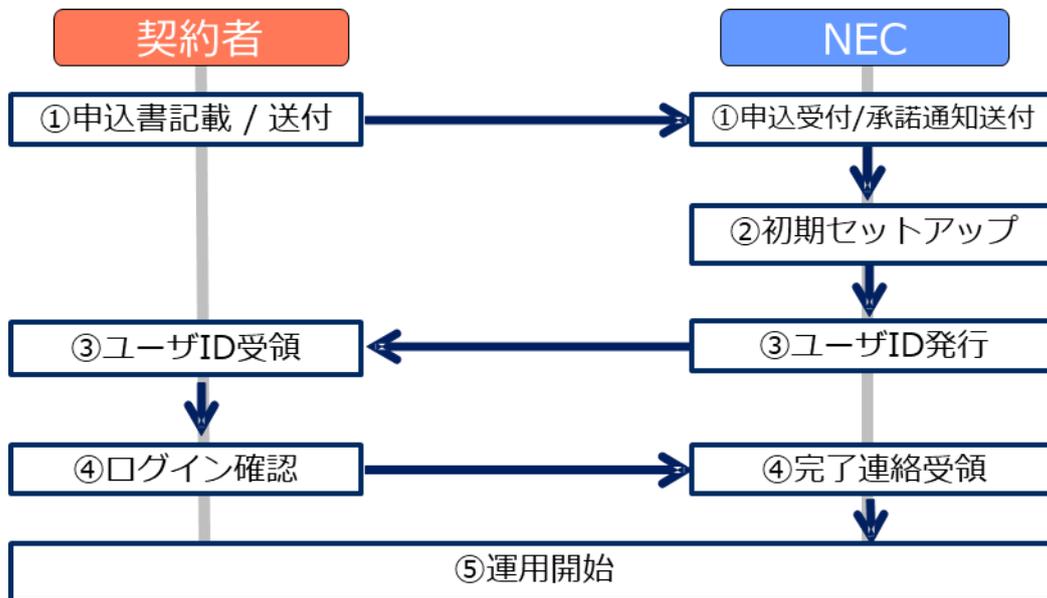
上限を超える対応が必要な場合は、予めサポート対応件数の追加オプションをお申し込みください。結果的に対応実績が上限を超えた場合は契約者と協議のうえ対応を決定します。サポート対応として、約2時間/件の作業を想定しております。作業規模が想定を超える作業の依頼につきましては別途費用調整が必要となります。問合せ・依頼方法は「3.3.1 問合せ」を参照ください。

表 2.3 サポート対応一覧

種別	作業項目	エントリー	エントリープラス	備考
	問合せ件数 (標準)	1回/月	2回/月	オプション (有償) で追加可能。
標準サービス	WISEエンジンイメージ、WISEエンジンなしイメージの利用	○	○	NEC the WISE エンジンについて、異種混合学習が利用できます。V1.5.2まで利用できた、RAPID機械学習、テキスト含意認識のエンジン、テキスト分析 with Deep Learningは継続利用可能ですが、新規利用はできません。
	利用者 (AAPFユーザ) 追加			
	接続元IPアドレス制限設定			
	追加イメージのアップロード			
	AAPF V1.2.2互換イメージの利用			
	外部連携設定			
	リソース制限の設定			
	パスワード初期化	○	○	サポート対応1件とカウント。
	アカウントロック・解除	○	○	サポート対応1件とカウント。
	強制ログアウト	○	○	サポート対応1件とカウント。
	リストア要求 (お客様要求時)			
	リストア要求 (環境障害時)	○	○	環境が壊れた場合に、弊社が指定する過去のバックアップの状態にリストアするサービス
	計画停止日の調整			弊社が予め提示する日時で行います。
オプション (有償)	コア数・メモリの拡張 (コンテナ追加) ・縮小、削除			
	追加エンジン			
	ストレージ容量の拡張		○	10GB単位で拡張可能。縮小はできません。拡張したストレージの利用料は有償。ストレージ容量の拡張作業はサポート対応1件とカウント。※注意事項がありますので、後述の「5 注意事項」の11)を参照ください。
	GPUの利用			
	ウイルスチェック			
	運用・保守 (サポート対応1件追加)	○	○	

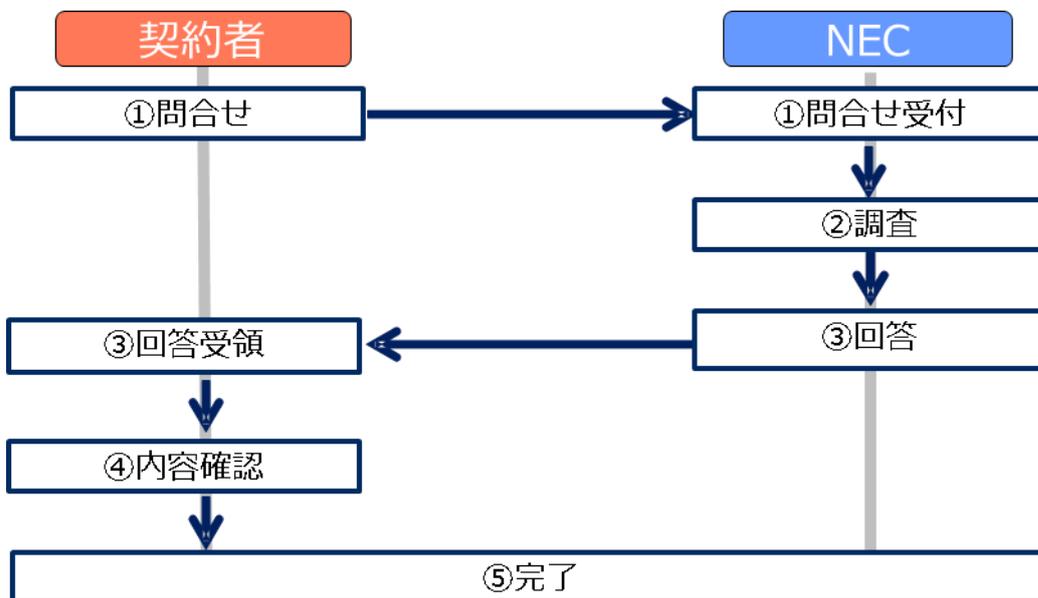
サービスのフローは以下の通りです。

◆初期セットアップ

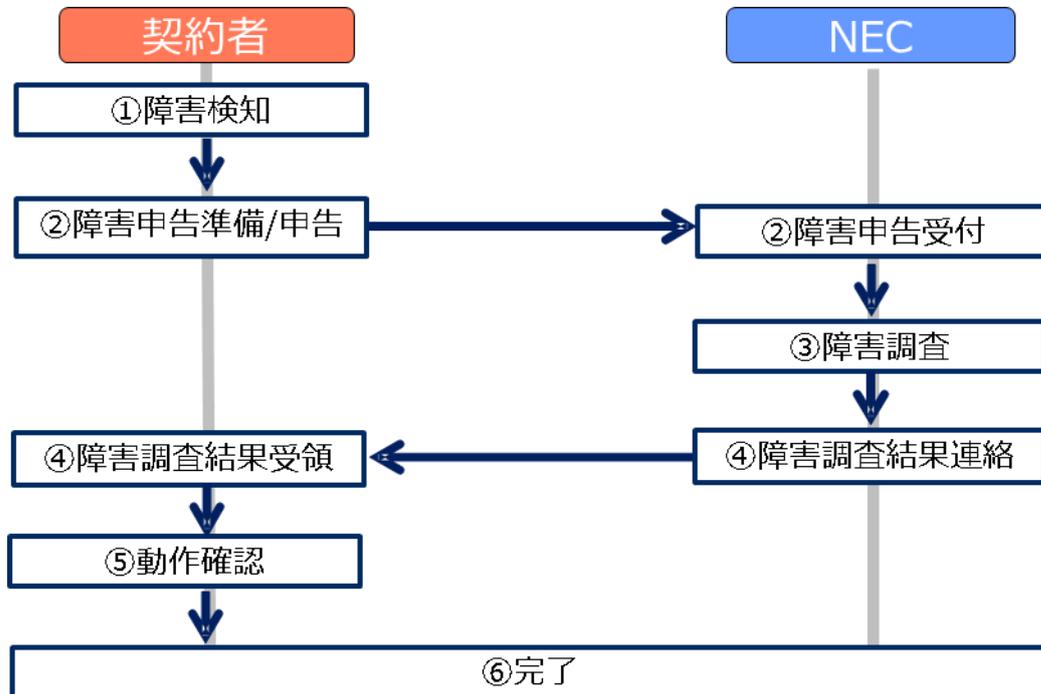


◆運用・保守

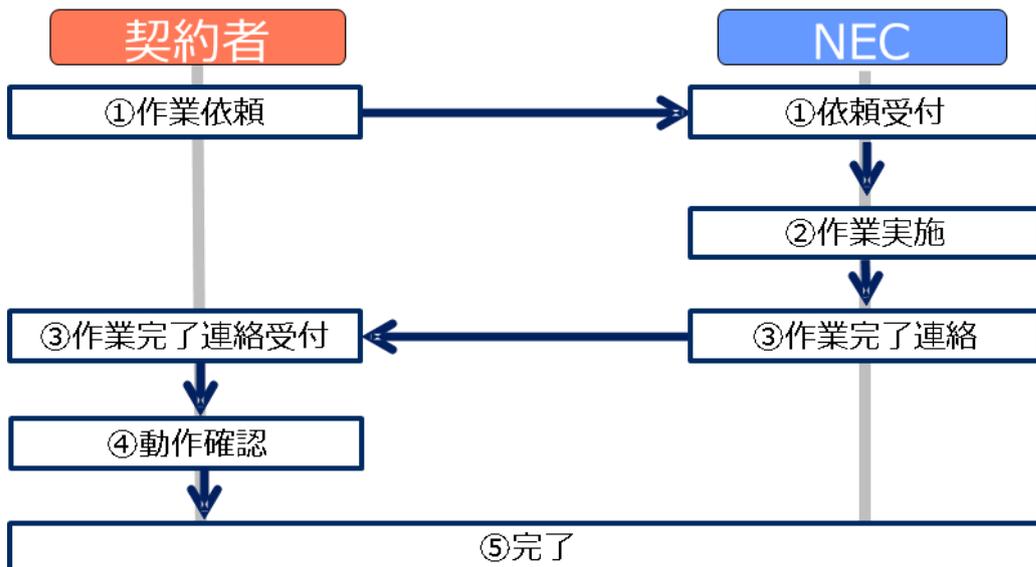
・問合せ対応



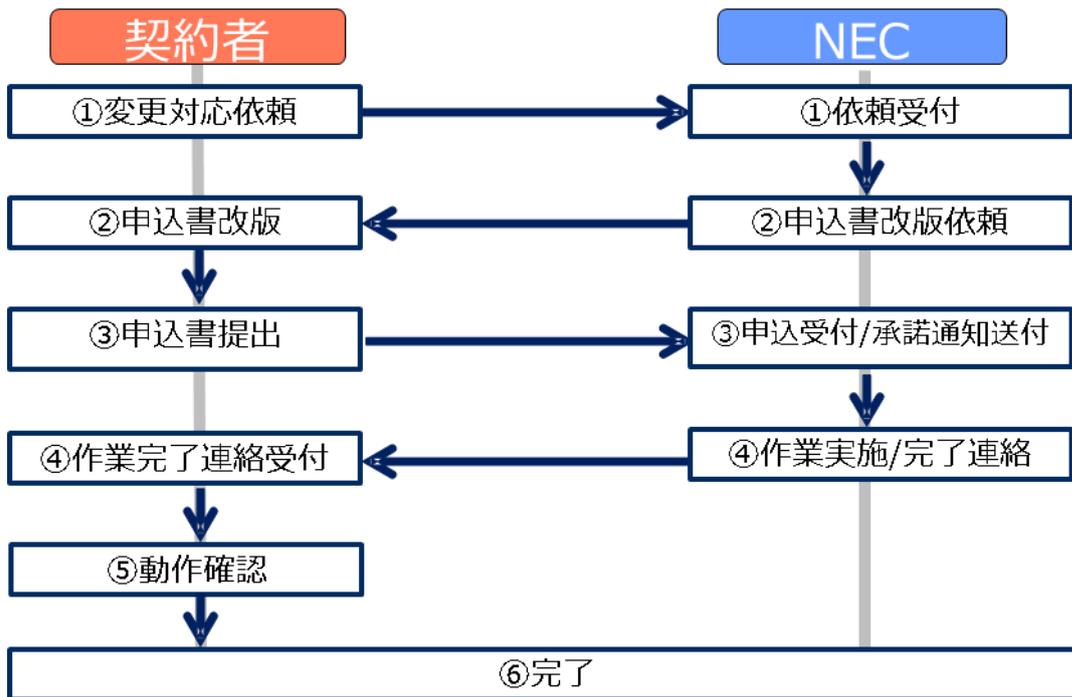
・障害対応



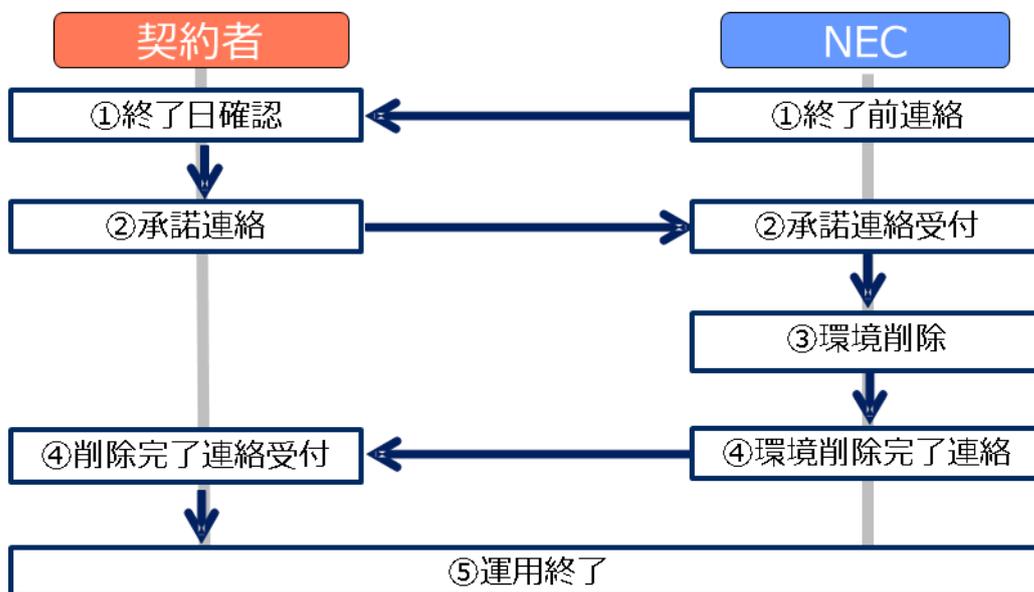
・作業依頼



・作業依頼（変更対応）



◆環境削除



3 サービス内容

AAPF マネージドサービスで提供するサービスの内容について説明します。

3.1 提供機能

AAPF マネージドサービスでは、以下の機能を提供します。各機能の詳細については対応する本節以後の各項を参照してください。

表 3.1 提供機能一覧

機能名	対応する項
異種混合学習エンジンおよび API	3.1.1
RAPID 機械学習（マッチング）エンジンおよび API	3.1.2
RAPID 機械学習（時系列数値解析）エンジンおよび API	3.1.3
テキスト分析エンジンおよび API	3.1.4
対話型 UI（Jupyter）	3.1.5
WebUI 機能	3.1.6
ライブラリアドオン	3.1.7
Web API 機能	3.1.8
AI-API フレームワーク	3.1.9
拡張機能	3.1.10
その他	3.1.11

3.1.1 異種混合学習エンジンおよび API

分析ツールとして異種混合学習エンジンおよび API として、sklearn-fab を提供します。

sklearn-fab の異種混合学習で分析する例について AAPF マニュアル「sklearn-fab Hands-on」、API の詳細は AAPF マニュアル「sklearn-fab Reference」を参照してください。

注：AAPF V1.3 マネージドサービスまでは SAMPO/FAB と sklearn-fab の 2 種類ありましたが、AAPF V1.5 マネージドサービスのイメージには SAMPO/FAB は搭載されません。なお、AAPF V1.3 マネージドサービスから AAPF マネージドサービスをご利用されていたお客様の環境に限定して SAMPO/FAB を含む AAPF V1.3 マネージドサービスのイメージ（以降、旧イメージ）が提供されます。また、AAPF V1.3 マネージドサービスの旧イメージは AAPF V1.5 マネージドサービス開始から 2 年間は利用できますが、旧イメージに対する脆弱性や不具合の改修は行わず、問合せ対応も可能な範囲での回答となるため、早めに sklearn-fab への移行をお願いいたします。

AAPF V1.5.4 以降は標準で提供されません。以前から継続利用中の案件に限り利用できます。
(新規申し込みで異種混合学習以外を利用される場合は個別にご相談ください)

3.1.2 RAPID 機械学習（マッチング）エンジンおよび API

分析ツールとして RAPID 機械学習（マッチング）エンジンおよび API を提供します。RAPID 機械学習（マッチング）で分析する例について AAPF マニュアル「RAPID Matching Python API Getting Started」、API の詳細は AAPF マニュアル「RAPID Matching Python API Reference」を参照してください。

3.1.3 RAPID 機械学習（時系列数値解析）エンジンおよび API

分析ツールとして RAPID 機械学習（時系列数値解析）エンジンおよび API を提供します。RAPID 機械学習（時系列数値解析）で分析する例について AAPF マニュアル「RAPID TSA Python API Getting Started」、API の詳細は AAPF マニュアル「RAPID TSA Python API Reference」を参照してください。

3.1.4 テキスト分析エンジンおよび API

分析ツールとしてテキスト分析エンジンおよび API を提供します。テキスト分析で分析する例について AAPF マニュアル「DeSTER Python API Getting Started」、API の詳細は AAPF マニュアル「DeSTER Python API Reference」を参照してください。

3.1.5 対話型 UI（Jupyter）

Jupyter Notebook による対話的な分析や、ノウハウの容易な記録と共有が可能です。詳細は AAPF マニュアル「AAPF Getting Started」を参照してください。

注：エントリー・エントリープラスプランでは他のユーザーとの共有領域を使って共有することはできません。Jupyter Notebook をローカルな環境でやり取りするなどして共有してください。

対話型 UI の利用にあたり、サポートブラウザは以下の通り、AAPF の仕様に準拠します。

- Chrome
- Firefox

3.1.6 WebUI 機能

AAPF が提供する WebUI 機能を利用して、ウェブブラウザ上で分析を実行するオペレーションができます。

AAPF マネージドサービスでは、WebUI 機能を持つ Web サービスノード、およびコンテナノードへのアクセス手段として、サブドメインと SSL 証明書を提供します。以下、それぞれの提供内容について記載します。

WebUI の利用にあたり、サポートブラウザは以下の通り、AAPF の仕様に準拠します。

- Chrome
- Firefox

※AAPF マニュアル「AACluster User Guide」の「付録」の「AAPF WebUI について」の「サポートブラウザ」を参照してください。

3.1.6.1 FQDN の提供

AAPF マネージドサービスの構築ごとにシステムが自動で FQDN を払い出します。

なお、ドメイン名は事業者側で払い出します。

契約者、および利用者がドメイン名およびサブドメイン名を選択することはできません。

3.1.7 ライブラリアドオン

稼働中の AACluster に分析エンジン・ツール（アドオンライブラリ）を追加できます。

詳細は AAPF マニュアル「AACluster User Guide」を参照してください。

3.1.8 Web API 機能

AAPF が提供する AACluster 管理用 Web API、および分析手順を記述した Notebook を WebAPI として実行できます。ストレージノードへのデータアップロード/ダウンロードも可能です。

詳細は AAPF マニュアル「AACluster User Guide」を参照してください。

3.1.9 AI-API フレームワーク

分析手順を記述した Notebook を AI-API として実行するための機能を提供します。

詳細は AAPF マニュアル「AACluster User Guide」および、AAPF マニュアル「AI-API 作成ガイド」を参照してください。

3.1.10 拡張機能

・ストレージ容量の拡張

エントリープラスプランではストレージ容量を 10GB/契約単位で拡張することが可能です。ストレージ容量の拡張についてのご要望につきましては問合せ窓口までご連絡ください。

なお、ストレージ容量の拡張については注意事項がありますので、後述の「5 注意事項」の 11) を参照ください。

3.1.11 その他

・Jupyter Notebook Server のログ

AACluster 上で起動している Jupyter Notebook Server のログを利用者が確認できるようになりました。AACluster で何らかの問題が発生した場合に、利用者がエラーログを確認できるようになりました。詳細は『AACluster User Guide』-「AACluster について」-「トラブルシューティング」を参照ください。

3.2 非機能要件

本節では AAPF マネージドサービスの非機能要件について説明します。

3.2.1 サービスレベル

3.2.1.1 サービスレベルの定義

サービスレベルは AAPF マネージドサービス利用規約にて定義します。

3.2.1.2 計画停止の規定

計画停止（お客様都合による停止および緊急作業による停止を除く）は以下の2種類あります。いずれもサービス提供時間内でも本システムを稼働停止します。停止日時は事業者が指定します。ユーザーが指定することはできません。

- ・外部サービスの計画停止。
 - ・ 外部サービスに準拠します。
- ・ AAPF のアップデートに伴う計画停止。
 - ・ 通知タイミング：事前通知
 - ・ 通知手段：メール(停止約1週間前と、約4時間前)
 - ・ 緊急の場合はこの定め以外の限りでない。

3.2.1.3 AAPF マネージドサービスのアップデート

AAPF は以下の方針で適宜アップデートを行います。

- ・ 脆弱性については事業者側でパッチ適用等の必要性を検討し、必要に応じて適用します（契約者が指定することはできません）
 - ・ OS や EKS、Python などサポート期限が設けられているものは、サポートが切れる前にバージョンアップを行います（互換性を可能な限り維持するため必要最小限のバージョンアップを行う）。
 - ・ OSS など事業者以外が更新するプログラムの場合、互換性を事業者では保証できないため、利用者で確認・対応をお願いします。OSS のアップデートも1か月前に通知いたします。
 - ・ NEC the WISE エンジンなど事業者が所有するソフトについては、互換性（※）を維持するように努めますが、互換性が損なわれる可能性がある場合、以下の対策を行います。
 - アップデートの1か月以上前に契約者に通知します。ただし、緊急を要する場合はその限りではありません。
 - イメージは互換性がなくなると分析処理に影響するため、アップデート前のイメージ（旧イメージと記す）をより新しい後継のイメージがリリースされてから2年間利用可能とします（ただし、旧イメージはアップデート前から AAPF マネージドサービスをご利用されていたお客様の環境に限定して提供されます。また、旧イメージに対する脆弱性や不具合の改修は行わず、問合せ対応も可能な範囲での回答となるため、早急に最新イメージへの移行をお願いします）。
- ※：機能追加や UI の違いなどは除く、アップデート前に作成したモデルが使えなくなったり、API の仕様が変わる場合などが対象

3.2.1.4 障害発生時の対応

分析環境に影響のある障害が発生した場合、契約者に対して障害通知を行います。

3.2.2 サービス提供時間

本サービスにおける提供時間は、1日24時間かつ1週7日とします。（計画停止と緊急作業による停止を除く）

ただし、サポート対応（問合せ対応、障害対応、作業依頼受付）については弊社営業日 9:00～17:00 で日本語での対応となります。

3.2.3 サービス利用料

本サービスの利用料は提供期間に応じて月額で発生する利用料と、初期セットアップ費などスポットで発生する利用料に分かれます。月額利用料は特に断りがない限り申込書に記載の利用開始日から月単位で課金されます。請求は月単位で翌月に請求されます（下記例を参照ください）。

例. 利用開始日：2月16日で、利用月数が2か月の場合、同年の4月15日まで利用できます。3月に初期セットアップ費、4月と5月に月額利用料が請求されます。

なお、エントリー、エントリープラスプランでは日割りはできませんのでご注意ください。

3.3 その他

3.3.1 問合せ

AAPF マネージドサービスに関する問合せ手段は、以下概要に示す通りとします。

表 3.2 問合せの概要

サポート対応内容	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの利用方法に関する質問 ・サービスの不具合に関する申告 ・ユーザー追加登録などの作業依頼（注） ・エントリープランは1件/月まで、エントリープラスプランは2件/月まで受け付けます。上限を超える対応が必要な場合は、予めサポート対応件数の追加オプションをお申し込みください。結果的に対応実績が上限を超えた場合は契約者と協議のうえ対応を決定します。なお、AAPF マネージドサービスの不具合に起因する問合せは対応件数に含めません。 	
問合せ	手段	<p>問合せ内容を問合せシートに記載の上、以下の窓口にメールで送付願います。</p> <p>宛先：当社運用保守窓口 aapfmanaged-mt@serv.jp.nec.com</p> <p>件名：【お客様番号】[種別] 問合せ内容</p> <p>※契約者からの問合せのみ受け付けます。個々の認定利用者からの問合せは承れません。</p> <p>※お客様番号は利用申込書兼利用変更申込書に記載がございます。</p> <p>※種別は[質問],[障害申告],[作業依頼],[期間変更]より選択ください。</p> <p>※問合せシートの記入方法は問合せシートを参照ください。</p> <p>※なお、障害の場合、調査目的で本サービス運用保守要員向けの分析ユーザーを作成し利用する場合があります。</p>
	受付時間	NEC 営業日 9:00-17:00 (JST)
	回答時間	NEC 営業日 9:00-17:00 (JST)

注：作業依頼については対応希望日の3営業日前までに申請してください。

3.3.2 利用申請

利用開始希望日の3営業日前までに当社に利用申込書兼利用変更申込書をご提示ください。対応可否を確認し、承諾通知を行い、ご希望の利用開始日までに初期セットアップを行い契約者に分析ユーザーIDを付与し、利用開始となります。ただし、同時期に複数の申込が入った場合は利用開始希望日までに初期セットアップが完了しない場合があります。ご容赦ください。

なお、利用開始日の変更につきましても、ご提示いただいた利用開始日の3営業日前までとさせていただきます。

また、利用終了日は利用申込書兼利用変更申込書に記載の利用終了日までとします（それまでに作成されていたシステム、データ等は削除されます）。

なお、利用終了日を延長したい場合、利用終了日の10営業日前までに新たな利用終了日を記入した利用申込書兼利用変更申込書を提出し、当社が承諾した場合、当該利用申込書兼利用変更申込書に定める利用終了日まで利用期間が延長されるものとします。

3.3.3 サポートライフサイクル

AAPF マネージドサービスについて、システム構造、サービス内容、契約条件など大幅な変更に伴い既存の環境を新たなバージョンにアップデートできない場合は、当該バージョンのサービス開始後、2年で新規利用の受付を終了、さらにその3年後にサポート終了とします。以後も継続利用されたい場合は個別にご相談ください。

4 責任範囲

AAPF マネージドサービスの責任範囲は、以下の分担とさせていただきます。

4.1 システム作成時の責任範囲

AAPF マネージドサービスシステム作成および初期設定における責任範囲は、以下の分担とさせていただきます。

表 4.1 システム作成時の責任範囲
(凡例) ○：責任範囲 -：責任範囲外

項目	事業者責任範囲	契約者責任範囲
AAPF マネージドサービスのサイジング及び利用申請	-	○
AAPF マネージドサービス環境へのアクセスに必要な通信手段の準備 ※1 <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者端末 ・ インターネット経由での接続 など 	-	○
マネジメント/Web サービス/ストレージ/コンテナノードセットの環境準備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 仮想サーバの構築 ・ マネジメントノードのインストール ・ Web サービスノードのインストール ・ ストレージノードのインストール ・ コンテナノードのインストール ・ SSL 証明書の払い出し ・ FQDN の払い出し 	○	-
マネジメント/Web サービス/ストレージ/コンテナノードセットの環境設定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各ノードの連携設定 ・ 利用者 (AAPF ユーザー) の登録 	○	-
Python パッケージ (DB ドライバ含む) の追加	-	○

※1 以降に記載する環境利用時、および環境削除時においても、同様の責任範囲とします。

4.2 システム利用時の責任範囲

AAPF マネージドサービスのシステム利用（運用）時における責任範囲は、以下の分担とさせていただきます。

表 4.2 システム利用時の責任範囲
(凡例) ○：責任範囲 -：責任範囲外

項目	事業者責任範囲	契約者責任範囲
AAPF の利用	-	○
AAPF の運用 (AAPF を利用可能な状態とする)	○	-
AAPF マネージドサービスのシステムに含まれるソフトウェアのパッチ適用、アップデート※1	○	-
AAPF マネージドサービスのアップデート予定の通知	○	-
AAPF マネージドサービスのアップデートに伴うユーザープログラムにおける差分吸収	-	○
AAPF マネージドサービスのアップデートに伴い NEC the WISE など事業者が所有するソフトが非互換となる場合の旧イメージの提供 (※5)	○	-
SSL 証明書の更新	○	-
利用者 (AAPF ユーザー) の ID、パスワード管理	-	○
データの管理※2	-	○
AACluster 起動時のリソース選択 (CPU タイプ選択)	-	○※3
ストレージ容量の拡張サイズ決定と変更申請	-	○※4
ストレージ容量の拡張作業	○	-

※1 パッチ適用、アップデート基準の設定・適用判断、および適用方法は事業者が決定します。

※2 当社で AAPF マネージドサービス環境を削除することによって、環境に保管しているデータはすべて削除されますのでご注意ください。データの退避が必要な場合は、契約者にて退避・保管をおこなっていただく必要があります。退避・保管に関してご相談があれば問合せください。

※3 契約したリソースを超える CPU タイプが表示されるケースがありますが選択できません。

※4 ストレージ容量の拡張はエントリープラスプランのみ可能です。オプションとなるため契約者の依頼により対応します。なお、ストレージ容量の拡張については注意事項がありますので、後述の「5 注意事項」の 11) を参照ください。

※5 イメージファイルに互換がなくなる場合、旧イメージをより新しい後継のイメージがリリースされてから 2 年間利用可能とします。ただし、旧イメージはアップデート前から AAPF マネージドサービスをご利用されていたお客様の環境に限定して提供されます。また、旧イメージに対する脆弱性や不具合の改修は行わず、問合せ対応も可能な範囲での回答となるため、早急に最新イメージへの移行が必要です。

4.3 システム解約時の責任範囲

AAPF マネージドサービスシステム削除における責任範囲は、以下の分担とさせていただきます。

表 4.3 システム削除時の責任範囲

(凡例) ○：責任範囲 -：責任範囲外

項目	事業者責任範囲	契約者責任範囲
AAPF マネージドサービスの削除申請	-	○
AAPF 上に配置したお客様データの退避	-	○
削除申請に伴うユーザー削除	○	-

5 注意事項

AAPF マネージドサービスの注意事項は下記のとおりです。

- 1) AAPF マネージドサービスのシステムのパッチ適用、アップデートは事業者側での作業となります。それらの適用基準の設定、適用の判断、および適用方法は事業者側が決定します。契約者、および利用者側での適用の判断、適用はできません。
- 2) AAPF の実行性能については保証しません。
- 3) AAPF における注意事項は、各 AAPF マニュアルを確認ください。
- 4) AAPF の各分析エンジンにおける注意事項は、各分析エンジンのマニュアルを確認してください。
- 5) AAPF の過去バージョンとの互換性は分析モデル含めありません。過去バージョンからの移行を行う場合は事前にご相談ください。

AAPF V1.5 以降はアップデート方針に従い旧イメージを提供しております。詳細は「3.2.1.3 AAPF マネージドサービスのアップデート」を参照ください。

- 6) AAPF マネージドサービスの環境に独自にアプリケーションをインストールすることはできません。別にサーバを作成頂きインストール頂くこととなります。
- 7) クラウドサービスのアカウントはお渡しできません。
- 8) 定期メンテナンスや計画停止時に AACluster の削除が必要なケースがあります。事前の連絡に従い削除、サービス再開後に再作成が必要となります。
- 9) AAPF やイメージのアップデートにより notebook や AI-API に影響が発生する場合があります。アップデート時の通知内容にご注意ください。
- 10) 申込について、利用開始希望日の 3 営業日前までに当社に利用申込書兼利用変更申込書をご提示頂くようになっておりますが、同時期に複数の申込が入った場合は利用開始希望日までに初期セットアップが完了しない場合があります。ご注意ください。
- 11) ストレージ容量の拡張はエントリープラスプランのみ可能です。契約者単位でユーザーごとのストレージ容量を一律で拡張することになります（特定のユーザーのみ拡張することはできません）。拡張は 10GB/契約単位となること、1GB/ユーザー単位で拡張が必要なため、vCPU1 コアモデルでは 30GB/契約単位での拡張となります。その他、拡張作業は約 1 か月お待ち頂く場合があること、ストレージ容量上限に達する場合は拡張できない場合もあること、一度拡張した容量を削減することはできないなどの注意事項があります。
- 12) AACluster 起動時のリソース選択（CPU タイプ選択）時に契約したリソースを超える CPU タイプが表示されるケースがありますが選択できません。
- 13) 作成した AACluster の性能タイプのコア数の合計が契約したコア数を超えない範囲で、複数の AACluster を作成できます。合計が契約コア数を超えて AACluster を作成しようとすると、エラーとなり、AACluster を作成できません。
- 14) SAMPO/FAB は AAPF V1.5 マネージドサービスから標準搭載されません。なお、AAPF V1.3 マネージドサービスから AAPF マネージドサービスをご利用されていたお客様の環境に限定して SAMPO/FAB を含む AAPF V1.3 マネージドサービスのイメージ（以降、旧イメージ）が提供され

ます。また、AAPF V1.3 マネージドサービスの旧イメージは AAPF V1.5 マネージドサービス開始から 2 年間は利用できますが、旧イメージに対する脆弱性や不具合の改修は行わず、問合せ対応も可能な範囲での回答となるため、早めに sklearn-fab への移行をお願いいたします。

- 15) AAPF マネージドサービスのアップデートに関する注意事項は、「3.2.1.3 AAPF マネージドサービスのアップデート」を参照してください。
- 16) Notebook 実行中にブラウザを終了すると実行中のセルの処理は行われますが、ブラウザが終了しているため次のセルの処理は行われません。
- 17) ご利用中の環境で利用可能なリソースを超えて利用しようとするシステムのプロtection機能により当該プロセスは OOMkiller により削除されます。これまで、以下の事象が確認されています。発生した場合、それぞれの対処方法に沿って対応ください。

- ・ AACluster で分析する場合、データ量や分析処理の内容によっては、ご利用中の環境で利用可能なリソースを超える場合があります。その場合、Jupyter の画面上に「Kernel Restarting / The kernel appears to have died. It will restart automatically」のエラーが表示されます。データ量や分析処理内容の見直しをお願いします。なお、NEC WISE Engine 利用時のリソースの消費量の目安はサイジングガイドを参考にしてください。

- ・ AACluster の Jupyter のファイル一覧画面で 100MB~500MB(確保しているリソースにより異なります) を超えるような大きなファイルをクリックして開くと、一時的にメモリを多く使用し、ご利用中の環境で利用可能なリソースを超え、読み込みに失敗するケースがあります。エラーが発生した際、Jupyter 画面上に「Error! Bad Gateway」と表示された場合、あるいは AACluster の一覧画面に戻り当該 AACluster の Status が「Alert」状態になっている場合、当該 AACluster は正常な操作ができない状態になっているので、AACluster の一覧画面に戻り、「Alert」状態となった AACluster を削除して、再度 AACluster を作成してください。なお、AACluster を削除しても、保存済みの notebook や分析データ等は削除されませんのでご安心ください。

なお、エラーを発生させないためには 100MB を超えるような大きなファイルを Jupyter のファイル一覧画面でクリックして開かないようにしてください。大きなファイルの内容を確認したい場合は、Python プログラム等で開いて一部を表示するなどして確認してください。

6 制限事項

AAPF マネージドサービスの制限事項は下記のとおりです。

- 1) AAPF の制限事項、サポート対象外の機能等は、「NEC Advanced Analytics Platform v1.5 マネージドサービス Release Notes」、および各イメージごとの「Release Notes」を参照してください。
- 2) AAPF の各分析エンジンにおける制限事項は、各分析エンジンのマニュアルを確認してください。
- 3) 契約者、および利用者は各ノードにアクセスすることはできません。そのため、契約者、および利用者側で各ノードに直接アクセスしてアプリケーションなどソフトウェアをインストールすることはできません。
- 4) 契約者、および利用者は本仕様書に記載の変更可能な設定を変更することはできません。
- 5) サーバの追加やネットワーク機器の変更など、本仕様書に記載の変更可能な設定以外に設定・構成を変更することはできません。
- 6) 契約者、および利用者がライブラリアドオン機能などを使用してインストールした、あるいは個別にインストールを依頼したライブラリやパッケージなどのソフトウェア、およびそれらによるプレインストールされていた AAPF への影響については、サポートの対象外とさせていただきます。
- 7) 脆弱性への対応などのため OS や、OSS などをアップデートしたことによる契約者、および利用者が作成したプログラム、およびインストールしたソフトウェアへの影響はサポートの対象外とさせていただきます。
- 8) プレインストールされている AAPF に含まれる OSS について問い合わせは受け付けますが、サポート対象外とさせて頂く場合もあります。

7 禁止事項

AAPF マネージドサービスの禁止事項は下記のとおりです。

- 1) 事業者により提供される AAPF マネージドサービスのコンテナイメージの持ち出しは禁止します。
- 2) AAPF マネージドサービスのサービス利用規約で規定された範囲外での利用は禁止します。
- 3) 特定個人情報（マイナンバーをその内容に含む個人情報）、および個人が特定される生体情報を本サービス環境に格納することは禁止とさせていただきます。

商標について

- 本マニュアルに掲載された各社名、各製品名、各ロゴは、各社の商標または登録商標です。
-

NEC Advanced Analytics Platform
V1.5
マネージドサービス
(エントリー、エントリープラスプラン)
サービス仕様書

© NEC Corporation 2022

2022年 12月

日本電気株式会社

(禁無断複製)